第七期小平市障害福祉計画・第三期小平市障害児福祉計画（素案）

に係る市民懇談会等における主な意見について

市民懇談会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日時 | 開催場所 | 参加人員 |
| 令和５年１２月８日（金）  午前10時～午前11時 | 小川西町公民館 | ７人 |
| 令和５年１２月９日（土）  午前10時～午前11時 | 福祉会館 | ２人 |
| 令和５年１２月12日（火）  　午後2時～午後3時 | 東部市民センター | ５人 |

わかりやすい説明会

※主に知的障がいのある方を対象とした説明会を行いました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 開催場所 | 参加人員 |
| 令和５年１２月１４日（木）  　午前１０時～１１時３０分 | 中央公民館 | ２２人 |

以下に、市民懇談会やわかりやすい説明会において、参加者より寄せられた意見などを紹介します。

現在策定中の計画の素案以外の事項についての意見も含まれていますが、主題ごとにおおまかな分類をしています。

１　計画素案　第３章について

・福祉施設から一般就労への移行について、知的障がいを持つ子が就労継続支援A型やB型から一般就労へ移行するというイメージが持てない。具体的にどのような様子なのか説明してほしい。

・災害時の支援体制の構築については、医療的ケア児に関することのみ記載されている。知的障がい者などのケアについてはどう考えているのか教えてほしい。

・相談支援体制の強化について、過去の計画より前進したと感じるが、さらなる基幹相談支援センターの設置について検討をお願いしたい。

・作業所の職員が少ないと感じている。利用者が増えたから職員が辞めて減ってしまうのか。（わかりやすい説明会）

・放課後等デイサービスの見込み量について、障がいに応じた見込み量の根拠や実態の把握を行っているのか。

２　計画素案　全体について

　・この計画は障がいのある人が過ごしやすい地域をつくることを考えて作られたと思うが、当事者から見るとしっくりこないところがあると感じる。市の窓口に相談しても事業所のことなどの把握が十分でなく、的確なアドバイスが得られないことがある。市民と市をつなぐコーディネーターのような方がいると意見が言いやすく良いと考える。

　・小平市として、前期計画をどう総括し、今回の計画は何がポイントだと考えているか。

３　その他

　・市の計画を市民がわかるように表現して、初めてその先の意見交換になるのではないか。市民と市とのコミュニケーションの取り方を工夫する必要があると考える。市民懇談会とは別に、市民との関係性を築いていけるような場を企画したほうが良いと感じた。

・日本版DBSの検討が国会で審議されたが、対象に障がい児者が通う施設が含まれていなかった。小平市で全国をリードして、日本版DBSに障害児者の施設を含める内容として検討してほしい。

　・１８歳を過ぎた障がい者が就労施設や生活介護施設の後に過ごす放課後等デイサービスに準ずる支援サービスについて、助成金を出す等の支援をしてほしい。

　・たいよう福祉センターやあおぞら福祉センターでは土日に看護師の配置がないため服薬の対応ができず、日中一時支援や緊急一時が利用できない。緊急一時については数年間利用がない状況と聞いた。それぞれ利用できるように計画に盛り込んでほしい。

　・障がい者支援課の保健師が精神保健福祉相談に対応しているが、地域実態に対して十分でないため、もっと充実させてほしい。

　・親亡き後、グループホームに入居することになると思うが、わからないことが多く、心配である。（わかりやすい説明会）

　・親が病気になってグループホームの入居のことを考えた。費用の面での心配もあるが、グループホームに入居して良かったと感じている。（わかりやすい説明会）

　・グループホームはどのような場なのか、部屋の使い方や過ごし方など具体的に教えてほしい。（わかりやすい説明会）

　・趣味のために出かけることが楽しみだったが、親が高齢になり移動時の負担が強い。ヘルパーを付けてほしい。（わかりやすい説明会）